

## 村上構成員からの意見

日本疫学会からの参考意見 1, 2 にあるように、基準人口の変更に抵抗感を示す研究者は一定数います。その主張の根幹には「(科学的) 基準はむやみに変えるべきでない」、「基準変更しても科学的意義は少ない」があり、普遍をめざす学術の考え方としては妥当と思われます。WHO 資料の 4 ページ(<https://www.who.int/healthinfo/paper31.pdf>)にあるように、England and Wales で 1901 年の人口がしばらく使用されていたことの根拠も、その辺にあると思います。

一方で、実践的に統計データをみる立場からは、「現状と比較して過去はどうだったか？」という視点こそ意味があります。その際、現状(に近い)人口を用いた直接法が最適であり、過去の人口による議論では、現下の公衆衛生的課題に対応できない場面があることは、今までの議論からも明らかです。

今回の基準人口改訂の目指すところは、公衆衛生での実践にあると思います。以上の点を明らかにするために、基準人口変更の目的として「1. 報告の趣旨」を以下の部分を変更してはいかがでしょうか。

「25 年以上が経過し、高齢化が進むなかで、現実の人口構成と異なってきており、本検討会としては……」

「25 年以上が経過し、現実の人口構成とは異なってきている。高齢化を反映した新しい基準人口が公衆衛生の実践面から求められるなか、本検討会としては……」